

スマート自治体 外部人材で加速

4月1日、関治之さんが DX フェローに就任

◎写真あり

市は4月1日、一般社団法人コード・フォー・ジャパン代表理事で、政府CIO補佐官や総務省地域情報化アドバイザーの他、多くの自治体でフェローを務める関治之(せき・はるゆき)さん(46歳)を枚方市DX(デジタルトランスフォーメーション)フェローとして迎えた。本市におけるデジタルトランスフォーメーションを更に推進し、スマート自治体の実現を図るため外部人材を登用し、データ及びデジタル技術の活用による市民の利便性の向上、業務の効率化やその他の総務省自治体DX推進計画に基づく本市の取組みの推進を加速させる。委嘱期間は令和3年4月1日から令和4年3月31日。

★関治之さん(写真)は、一般社団法人コード・フォー・ジャパン代表理事。「テクノロジーで、地域をより住みやすく」をモットーに、会社の枠を超えて様々なコミュニティで積極的に活動する。住民参加型のテクノロジー活用「シビックテック」を日本で推進している他、オープンソースGISを使ったシステム開発企業、合同会社Georepublic Japan CEO及び、企業のオープンイノベーションを支援する株式会社HackCampの代表取締役社長も勤める。



★関さんは、神戸市のチーフ・イノベーション・オフィサー(非常勤)や東京都のフェローとして、自治体のスタートアップ支援政策やオープンデータ活用を推進している。その他にも政府CIO補佐官や総務省地域情報化アドバイザー、内閣官房オープンデータ伝道師等で活躍している。

★市は、これまで電子申請の拡充などスマート自治体の推進に取り組んできた。関さんをフェローとして迎えることで、国や自治体などでアドバイザーを務めてきた豊富な知識や経験、柔軟な発想や創意工夫を取り入れ、本市職員の意識醸成に繋げるなど、本市におけるデジタルトランスフォーメーションを積極的に進めていく。

<お問い合わせ>

総合政策部 ICT戦略課 ☎072-841-1296(直通)